

2024.3.15

田村まみ参議院議員、予算委員会で質疑！

年収の壁の解消対策について質疑を行いました



岸田内閣総理（左）、田村まみ議員

https://youtu.be/A_1Sag1d0Q

田村まみ参議院議員、発言抜粋

年収の壁の解消対策について



まみに聴かせてキャンペーンに寄せられた声

「年収の壁問題を解決してほしい」

「賃上げにより雇用保険喪失手続きしなくてはならない従業員が増えてしまう」

「根本の社会保障制度改革が必要」

「一時的な対応だけでなく、抜本的な対応・改善に向けて国政へ投げかけ続けてほしい」

- 昨年総理が対応を約束した企業の配偶者手当の見直しは進んでおらず、逆に後退しており、課題認識のズレが対策のズレにつながっていることを指摘しました。
- 昭和の高度経済成長期につくられた年金・健康保険等の諸制度とそれに基づく社会通念、家族観が時代変化に対応できず、女性の働き方の選択を歪めていることが年収の壁の課題の本質であることを指摘しつつ、年金・健保等の制度、特に第3号保険者制度について、期限を明確にした見直しを求めました。
- 制度改革の先送りによって雇用保険から外れてしまう人が増えること、また雇用保険の適用拡大（週10時間以上）について、2028年施行では遅すぎることを指摘しました。
- 長年保険料を納めたのに雇用保険から外れた後に失業してしまい給付がもらえなかった事例も報告しつつ、引き続き厚生労働委員会での議論を求めました。